

## 第67回国立大学法人筑波技術大学経営協議会議事要旨

I 日 時 平成30年6月21日（木）14:00～16:30

II 場 所 天久保キャンパス管理棟大会議室

III 出席者等

- ・出席者 大越教夫（議長）、石塚和重、石原保志、川村恒明、北原保雄、佐藤正幸、宅清光、谷川彰英、内藤一郎、廣瀬寛、森戸久雄、横山儀八、四日市章（五十音順・職名略）
- ・陪席者 大島慎子監事、竹内啓博監事
- ・事務局 山末企画課長、小山財務課長、小暮聴覚障害系支援課長、廣瀬視覚障害系支援課長 他4名

IV 議 事

（主な質疑応答 ○：学外委員、●：本学 以下同じ）

1 前回議事要旨の確認について

議長から資料1により説明があり、案のとおり確認された。

2 審議事項

(1) 平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

事務局から資料2により説明があり、審議の結果、案のとおり了承された。

- アクティブラーニングの実施状況について、「実施した」とのみ記載されているが、実施した内容や結果についての説明がさらに必要ではないか。
- 結果について、特色のある取組など追記する。
- 保健科学部の定員未充足の理由について、視覚障害者の職域拡大など社会のニーズの変化への対応が十分ではない旨の記載が必要ではないか。
- 記載内容を検討の上、追記することとしたい。
- パラリンピックや来年度開催の茨城ゆめ国体に対して、本学が連携協定を結んで様々な対応を行っている点について、記述を加えるべきではないか。
- 今年度から実施している学生ボランティアの養成・派遣については記載することとしたい。

(2) 大学機関別認証評価自己評価書について

事務局から資料3により説明があり、審議の結果、案のとおり了承された。

- 卒業生の就職先に対して行ったアンケートについて、本学に対して非常に高い評価が示されているが、学生募集の場面でこの結果をどう活かしていくのか。
- （産業技術学部）現在高校卒業時の就職率が高いために、大学進学ではなく就職を選択する聴覚障害学生が増えている。進学率を高めるために、壘学校訪問やオープンキャンパスを通して、大学に進学しキャリアを積むことで就職先の幅が広

がることを高校生に周知を図っていきたい。また、高大連携事業として聾学校との連携協定締結や事業連携も行うなど本学のPRを行っている。

- (保健科学部) 今後この高評価を学生募集の戦略に繋げるに当たっては、アンケートの回収率や回答内容の詳細についてさらに調査・分析が必要と考えている。

(3) 平成29年度決算について

事務局から資料4により説明があり、審議の結果、案のとおり了承された。

- 損益計算書について、平成28年度と平成29年度を比較すると人件費が増えている点について説明してほしい。
- 退職金の増加、人事院勧告による給与等のベースアップ等によって平成29年度の人件費増加に繋がった。

(4) 平成31年度概算要求について

事務局から資料5により説明があり、審議の結果、案のとおり了承された。

3 報告事項

(1) 平成30年度独立行政法人大学改革支援・学位授与機構施設費交付事業費の交付決定について

事務局から資料7により説明があった。

(2) 会計監査人の選任について

事務局から資料8により説明があった。

(3) 教育研究評議会委員から選出される学長選考会議委員の選出について

事務局から資料9により説明があった。

(4) 平成30年度経営協議会学外委員からいただいた意見の反映状況について

事務局から資料10により説明があった。

(5) その他

学長から資料6及び当日配布資料により本学の改革等の現況について説明があった。

以上